

1 本アンケート調査の狙い

今年度、“EPOC 産業エコロジー部会 エコネットワーク研究会”では、企業連携によるゼロエミッションネットワークづくりを検討していきます。本アンケート調査は、活動の第 1 歩として、「企業連携による取組の対象となる廃棄物の絞込み」、及び、「企業連携に関する検討を進めるための自主的研究会への参加企業の見出し」を目的として実施するものです。【別紙；本アンケート調査の趣旨（はじめにお読みください）参照】

2 記入上の注意

調査票は、記入用紙と記入要領に分かれていますので、記入用紙に該当事項をご記入下さい。なお、本調査で言う「廃棄物」とは、廃棄物処理法上の廃棄物に加え、有価物・資源化物も含むものとします。

〔事業所情報等の記入欄〕

- 1) 事業所名：貴事業所名をご記入下さい
- 2) 事業所所在地：貴事業所の住所をご記入ください。
- 3) 記入者：アンケート用紙へご記入された方のご所属、お名前、ご連絡先（TEL、FAX、e-mail）をご記入ください。
- 4) 業種：業種名をご記入下さい。
- 5) 従業員数：平成 15 年 3 月 31 日現在の貴事業所における従業員数（会社全体ではなく事業所単位でお答え下さい）をご記入ください。
- 6) 主な生産品・販売品・サービス等：貴事業所の事業活動における生産品（製造業等）・販売品（小売業等）・サービス（サービス業等）等について、主なものをご記入ください。

〔質問項目〕

Q1．企業連携によるゼロエミッションネットワークづくりの対象となる廃棄物について

貴事業所で現在、発生・排出している廃棄物の中で、企業連携により、リサイクルの推進や処理費の低減を図りたいと思う廃棄物種類について、選択肢（1～13）から選び、○を付けて下さい。（いくつでも）

なお、選択肢は、企業連携が図りやすいと考えられる廃棄物（下表参照）に絞っていますが、それ以外のものがある場合は、13．その他を選んでください。

表．選択肢に挙げた廃棄物種類の選定理由

対象廃棄物	選定理由
1. 事業系一廃	● ほとんどの事業所から、良く似た性質のものが、排出される。 ● 量が少量でありリサイクル取組があとにまわされやすい
2. 容器包装系廃棄物	
3. 食品残さ	● 法制化等の社会的プレッシャーが強まっている ● 少量分散型で発生（社員食堂やコンビニエンスストアからの食品残さ等）
4. 廃プラ類	● 性状等が多種多様でリサイクルが進みにくい場合が多い ● EPOC 企業における最終処分量が多い
5. 木くず	● 処理方法自体は確立しているが、現実にはできていない部分がある ● EPOC 企業における資源化率が全国平均より低い（昨年度 EPOC アンケートより）
6. 自社焼却灰 （燃え殻、飛灰）	● 特に飛灰は特殊処理が必要で処理経費が高い ● 灰の溶融等については、潜在的な需要あり ● EPOC 企業における最終処分量が多い、資源化率が全国平均より低い（昨年度 EPOC アンケートより）
7. 汚泥	● 多くの事業所から発生、多量に発生
8. ガラス・陶磁器くず	● EPOC 企業における最終処分量が多い、資源化率が全国平均より低い（昨年度 EPOC アンケートより）
9. 廃酸	
10. 繊維くず	
11. ゴムくず	
12. 使用済み製品	● R 法以外の品目等について連携が考えられる

No.

- ・当該廃棄物種類の選択肢の番号（1～13）をご記入ください。

廃棄物種類

- ・名称の欄には、選択された廃棄物の貴事業所での呼称をご記入下さい。
- ・分類コードの欄には、同封の廃棄物コードリストを参照し、分類番号（大分類・小分類）を御記入下さい。

発生量（H14 年度）

- ・当該廃棄物の発生量を誤記入下さい。（数値とともに、単位も忘れずご記入下さい。）

内容詳細（性状・発生工程等）

- ・当該廃棄物の性状や、発生する工程・場所等について御記入下さい。

現在の処理方法

- ・現在の処理方法について、表下部にある選択肢（ア～エ）から選びご記入下さい。
- ・また、その内容について、具体的にご記入ください。（自由記入）

処理・リサイクルにおける現状の問題点

- ・当該廃棄物の問題点について、表下部にある選択肢（A～P）から選びご記入下さい。
- ・また、その内容について、具体的にご記入ください。（自由記入）

Q2．自主的研究会への参加の有無について

自主的研究会【別紙；本アンケート調査の趣旨（はじめにお読みください）参照】で、貴社が Q1 でご記入になった廃棄物を取り上げるようになった場合、その研究会に参加してもよいと思われますか？選択肢（ア～ウ）の中から選び、記号に○をつけて下さい。また、ア、イを選ばれた場合その理由を、ウを選ばれた場合は、どういう条件であれば参加してもよいか御記入ください。（自由記入）

Q3．企業連携に関するアイデアについて

貴事業所で、これまでリサイクル等に取り組んでこられた経験から、企業連携によるゼロエミッションネットワークづくり（共同回収・処理、その他）に関して、何かよいアイデア等がございましたら、ご記入ください。

3 調査票の回答期限

本記入要領に基づき、記入用紙にご記入のうえ、平成 15 年 8 月 8 日（金）（必着）までに、(株)エックス都市研究所までご返送下さい。なお、ご返送は記入用紙のみにして下さい。

4 お問い合わせ先

- 本調査の主旨、調査内容、記入方法等についてのお問い合わせ

(株)エックス都市研究所 第 2 研究本部 エネルギー環境計画室 〒171-0033 東京都豊島区高田 2-17-22 目白中野ビル 6F Tel 03-5956-7516 FAX 03-5956-7523 E-Mail matsumoto@exri.co.jp （松本）	担当者 松本、内藤
---	-----------

記入に当っては別紙：廃棄物コードリストも合わせて参照